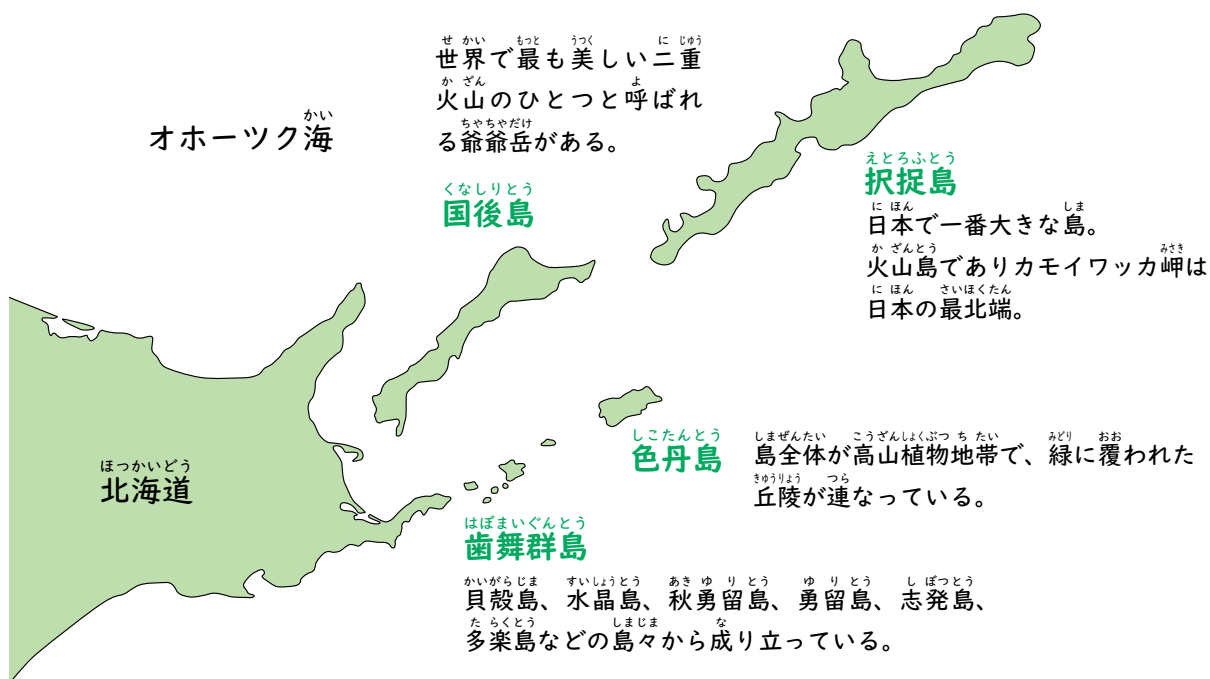


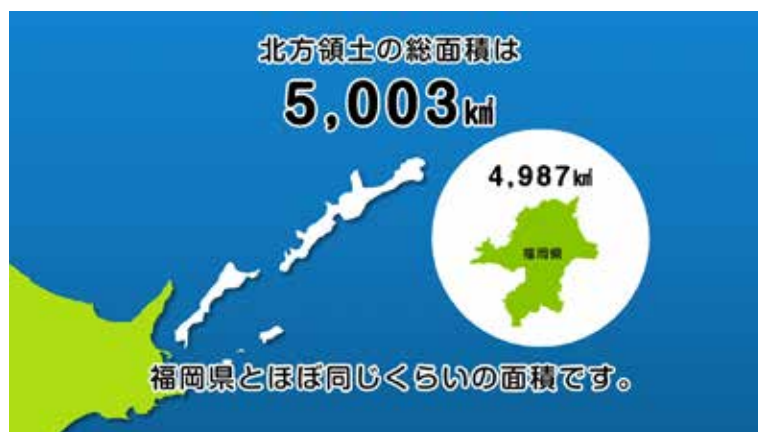
?

ほっ ぽうりょう ど しま な まえ
北方領土の島の名前、
い ち
位置、広さはどんなよ
うすだろう。



しま い ち 島の位置と大きさ

ほっ ぽうりょう ど ほっ かい と う ほ ん と う ほ く と う かい じ ょ う は ぼ ま い ぐ ん と う し こ た ん と う く な
北方領土とは、北海道本島の北東の海上につらなる歯舞群島、色丹島、国
し り と う え と ろ ふ と う は ぼ ま い ぐ ん と う ね む ろ は ん と う の さ つ ぶ み さ き
後島、択捉島のことをいいます。歯舞群島は、根室半島の納沙布岬から、わ
ず か 7 km は な れ る す い しょう と う あ き ゆ り と う ゆ り と う し ぼ つ と う た ら く と う
水晶島をはじめとする秋勇留島、勇留島、志発島、多楽島
の しま じ ま し こ た ん と う ほ く と う
島々などからなっています。色丹島は、さらにその北東にある島です。国
し り と う の つ け み さ き え と ろ ふ と う く な し り と う
後島は、野付岬から16kmはなれたところにあります。択捉島は、国後島の
ほ く と う ほっ ぽうりょう ど しま
北東にあり、北方領土の中では、一番大きい島です。



ほつぽうりょうど ぜんたい めんせき へいほう
北方領土全体の面積は、5,003 平方キロメートルで、福
岡県（4,987 平方キロメートル）より広いよ。



えとろふとう へいほう おきなわほんとう めんせき
択捉島（3,167 平方キロメートル）は沖縄本島の面積
（1,208 平方キロメートル）の約 2.6 倍、国後島（1,489
平方キロメートル）は沖縄本島（1,208 平方キロメートル）
より少し大きい島なんだね。

しこたんとう へいほう おきしま とうご
色丹島（248 平方キロメートル）は、隠岐の島（島後）
とほぼ同じ面積、歯舞群島（95 平方キロメートル）は東
京都の大島（91 平方キロメートル）とほぼ同じ面積だよ。

しま し ぜん 島の自然

くなしりとう えとろふとう ほくとう い ち
国後島、択捉島は、その北東に位置す
ち しまれつとう
る千島列島とつながっていて、これらの
しまじま ちゅうおう ち しま か ざんたい
島々の中央には、千島火山帯が走ってい
ます。



ほつぽうりょう ど し ぜん
北方領土の自然は、
どんなようすだろう。

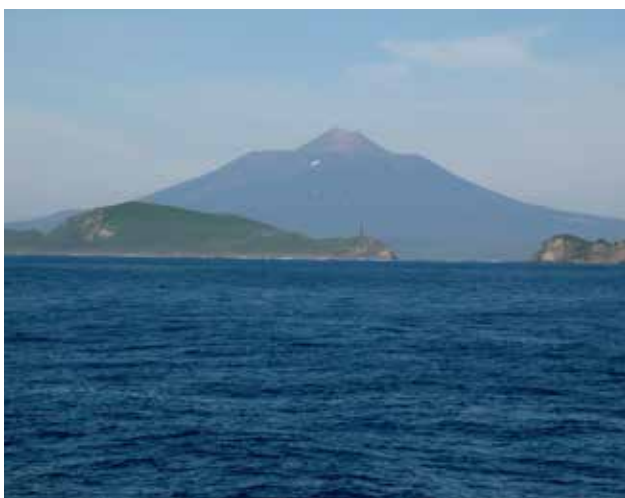
そのため、山はかいがん
海岸からすぐ切り立っ
ているものが多く、国後島のくなしりとう ちやちやだけ えとろふとう ちりつぶさん
爺爺岳、択捉島の散布山など、1,500m をこ
やまやま
える山々があります。

2つの島は、しま さんみやく たいへいようがわ かいがわ
山脈をはさんで太平洋側とオホーツク海側に分かれているた
め、川はみじか なが きゅう たき
短くて流れの急なものが多く、いたるところに滝があります。

へい や ぜんたい
平野は全体に少ないのですが、2つの島には、しま かいがんせん
海岸線にそってなだらかな
と ち
土地が広がっているところもあって、みづうみ ぬま
湖や沼も数多くあります。

はばまいぐんとう しこたんとう おおむかし ね むろはんとう じ つづ と ち
歯舞群島と色丹島は、大昔、根室半島と地続きでしたが、土地のかんぼつ
り とう
などによって、離島になったといわれています。

しま
島の多くは、ゆるやかなおか つづ ち けい
丘の続く地形で、ところどころにぬま
沼やがけが見ら
れます。



ちやちやだけ
↑ 爺爺岳 1,772m



ちりつぶさん
↑ 散布山 1,582m

気候は、海洋の影響を受けて、真夏の8月で平均気温が16度、冬でも根室とほとんど同じで、れい下5度か6度くらいです。ただ年間を通して風の強い日が多く、特に冬の間は、雪まじりの北西の季節風が何日も続くことがあります。

島々には、ヒグマ、キタキツネ、アザラシ、ラッコ、イルカなどのたくさんの動物がいます。また、エトピリカ、シマフクロウ、オジロワシなどのめずらしい鳥も多くみられます。



北海道の自然
とにているところ
が多いね。



イルカ



エトピリカ



シャチ



ヒグマ



ラッコ



ほつぽうりょう ど
北方領土で、さかん
さんぎょう
だった産業にはどのよ
うなものがあつたのだ
ろう。

しま さんぎょう 島の産業

ほつぽうりょう ど
北方領土は、魚やこんぶなどのかいさんぶつ
かいさんぶつ
海産物をはじめ、もくざい こうせき
木材、鉱石などゆたかな
しげん
資源にめぐまれていました。ほつぽうりょう ど まわ
北方領土の周りの海は、かんりゅう だんりゅう せつ
寒流と暖流が接してい
るため、せ かい さんだいぎょじょう
世界の三大漁場に数えられるほど魚や貝などがたくさんとれるとこ
ろで、すいさんぎょう だい じ さんぎょう
水産業が大事な産業でした。

かいさんぶつ おも
海産物の主なものは、サケ、マス、タラ、ニシン、サンマ、オヒョウ、カ
レイ、マグロ、毛ガニ、たらばがに、はなさき
花咲ガニ、エビ、ホタテガイ、ホッキ
ガイ、コンブ、ノリ、クジラなどがとれました。

すいさんぶつ しま こうじょう ほ
これらの水産物は、島の工場で干したり、かんづめにするなど、か こう
加工され
て国内はもちろ、がいく
外国にもたくさん売り出されました。

すいさんぎょう りんぎょう たいせつ さんぎょう くなしりとう えとろふとう しま
水産業について林業も大切な産業でした。国後島と択捉島は、島のほとん
どがしんりん
森林におおわれており、しつ もくざい せいさん
質のよい木材が生産されていました。



しこたんとう
↑色丹島 イモネシリかいがん たら ぼ ふうけい
海岸での鱈干し風景



かんづめこうじょう
↑缶詰工場

樹木は、トドマツ、エゾマツが主で、大部分は切りたおした木のまま北海道に送られ、一部は島で使うための材料や燃料として使われていました。

千島火山帯につらなる国後島、択捉島には、金や銀、鉄、銅、鉛などの資源があり、昭和の時代には、硫黄、金、銀などが少しずつ生産されていました。

漁業や林業の合間に牛や馬の飼育も行われていました。



↑硫黄山



ほつぽうりょうど ゆた し げん
北方領土は豊かな資源
にめぐまれていたんだね。

しま せいかつ 島の生活

第2次世界大戦が終わる前の1945（昭和20）年まで北方領土に住んでいた人たちは、4つの島々に1万7,291人の人々がいました。この中には小学生もたくさんおり、小学校は39校もありました。その他に漁業の一番さかんな時期には、根室や函館、本州などから5,000人以上の人が働きにやってきて大変にぎやかであったということです。

北方領土のおもな産業は漁業でしたので、住んでいた人たちの大部分は漁業と、



ほつぽうりょうど す
北方領土に住む人たちの生活のようすや苦
労は、どのようなもの
だったのだろう。

ほつぽうりょうど せい
北方領土ではどんな生
活をしていたのかな。



それにつながるのある仕事^{しごと}をしながら生活^{せいかつ}をしていました。ところが、毎日^{まいにち}の生活^{せいかつ}に必要な食べ物^{ひつよう}や用具^{ものようぐ}、あるいは仕事^{しごと}に使う道具^{つかどうぐ}、郵便物^{ゆうびんぶつ}、新聞^{しんぶん}などは、すべて船^{はこ}で運ばれていたため、ねだんが高かったり、冬になると嵐^{あらし}や流氷^{りゅうひょう}で送り運ぶことができなくなってしまうなど、北海道^{ほっかいどう}や本州^{ほんしゅう}にない苦勞^{くろう}がありました。

品物^{しなもの}を送り運ぶ^{おく}ときに使われた船^{はこ}の大きさは、1,000 t という大きなものもありましたが、ほとんどは50 t くらいの小さな船でした。

島^{しま}の周り^{まわ}には、海の中にかくれてある岩^{うみきり}がたくさんあり、海霧^{うみきり}（ガス）や風^{なみ}、波^{なみ}など、天候^{てんこう}の変化^{へんか}がはげしく、港^{みなと}の施設^{しせつ}や灯台^{とうだい}などの設備^{せつび}が少なかった^{じこ}ので、事故^{じこ}でちんぼつする船もたくさんありました。

一番こまったことは、急病人^{きゅうびょうにん}やけが人^{けがにん}が出たときです。医者^{いしや}や病院^{びょういん}は少なく、設備^{せつび}も整^{ととの}っていませんでしたので、重病人^{じゅうびょうにん}などは、船^{はこ}で根室^{ねむろ}やは函館^{はこだて}などに送^{おく}られましたが、何日^{なんにち}もかかるので手当て^{てあ}が間に合わないことも多くありました。

島^{しま}の人々の楽しみ^{ひとびと}は、小学校^{しょうがっこう}の運動会^{うんどうかい}や学芸会^{がくげいかい}、あるいは、地域^{ちいき}の人々^{ひとびと}による演芸会^{えんげいかい}などでした。中でも、1年に1回のお祭り^{まつ}は、村中^{むらじゅう}を



↑ 択捉島 紗那村 どさんこ馬



↑ 小学校の運動会



↑ 択捉島 薬取青年会（義経千本桜）

あげて、にぎやかに行われました。

このように、人々の生活は苦しいことや不便なことも多かったのですが、魚や木材など、豊かな資源にめぐまれていたことから、生活はゆたかで、島をふるさとに決めた人々は、祖先のおはかをつくり、明るい希望をもってくらしていました。

ほつぽうりょうど がくしゅう つづ 北方領土の学習を続けましょう

① 歴史

日本が北方の島々のことを知ったのは、17世紀のはじめころのことです。

これは松前藩の歴史書『新羅之記録』で明らかになっています。

今ある地図のうち北方領土が表されたもっとも古いものでは、1644（正保元）年に江戸幕府が作成した「正保御国絵図」があります。この中にすでに「くなしり」、「えとろほ」などの島々の名前が書かれています。

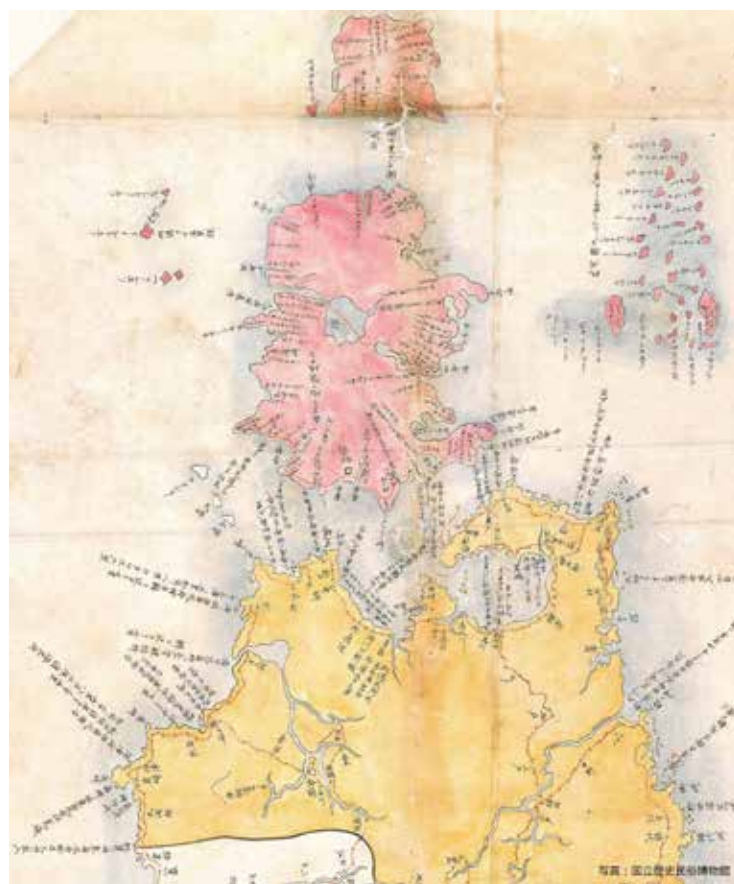
18世紀後半になると、江戸幕府は、えぞ地や北方領土などのようすをくわしく知る

ため、最上徳内や近藤重蔵など、すぐれた探検家を送って調査を行いました。

幕府は1785（天明5）年から、最上徳内を国後島と択捉島に派遣し、現



ほつぽうりょうど
北方領土は、いつ、
だれが発見して、住む
ようになったのだろう。



↑ 正保御国絵図

地^ちのようすをくわしく調べ^{しら}させるとともに、また、1798（寛政^{かんせい}10）年には、大規模^{だい き ぼ}な調査隊^{ちよう さ たい}を派遣^{は けん}し、このとき近藤重蔵^{こんとうじゅうぞう}が最上徳内^{も がみとくない}とともに択捉島^{えとろふとう}に渡り、大日本恵登呂府^{だい にっぽん え とろ ふ}と書いた標柱^{ひょうちゆう}を建てました。さらに1799（寛政^{かんせい}11）年には高田屋嘉兵衛^{たかだ や か へ え}が、苦心^{く しん}の末^{す え}、国後^{く な し り}、択捉島間^{えとろふとう}に航路^{かうろ}を開きました。このように北方領土^{ほつぽうりよう ど}は昔^{むかし}からの日本の領土^{に ほん りよう ど}なのです。



ひょうちゆう
↑ 標柱



も がみとくない
↑ 最上徳内



こんとうじゅうぞう
↑ 近藤重蔵



たかだ や か へ え
↑ 高田屋嘉兵衛



ほつぽうりよう ど に ほん りよう
北方領土が、日本の領
土である理由を知ろう。

つぎ ほつぽうりよう ど かん
次は、北方領土に関す
る日本とロシアの国際的な
やくそく
約束を見ていきましょう。



じょうやく ② 条約

1855（安政元^{あんせい}）年、「日露通
好条約^{こうじょうやく}」が結ばれました。この条
約^{やく}で日本^{に ほん}とロシア^{こつきよう}の国境^{えとろふとう}を択捉島^{えとろふとう}
とウルップ島^{とう}の間にして、ウルッ
プ島より北^ちにつらなる千島列島^{ちしまれつとう}は
ロシアの領土^{りよう ど}と決められました。
えとろふ くなしり しこたん はぼまい よんとう
択捉、国後、色丹、齒舞の四島は
に ほん りよう ど
日本の領土であることが、この条



に ち ろ つうこうじょうやく
↑ 1855 年日露通好条約

やく
約によってロシアとの間で正式に
き
決まったのです。

1875（明治8）年、日本はロ
シアと「樺太千島交換条約」を結
び、千島列島をロシアからゆずり
受けるかわりに、樺太全島をロシ
アにゆずりました。この条約で、
ゆずり受ける千島列島はシム
シュ島からウルップ島までの18
の島の事です。歯舞群島、色丹
島、国後島、択捉島は、千島列島
には入りません。

1905（明治38）年、日本と
ロシアは「ポーツマス条約」を結
び、南樺太が日本の領土になりま
した。

その後、ロシアは「ソビエト社
会主義共和国連邦（ソ連）」とな
りました。日本はソ連と「日ソ中
立条約」という約束をしました。
これは、おたがいに戦争はしない、
という約束です。

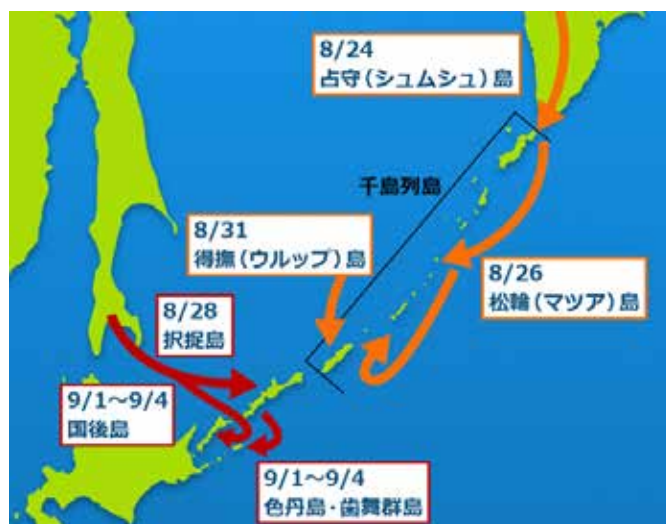
しかし、1945（昭和20）年、
第2次世界大戦が終わるころに
「日ソ中立条約」があるにも関わ
らず、ソ連軍がいきなりせめてき
て、北方領土を自分の国の領土に



↑ 1875 年樺太千島交換条約



↑ 1905 年ポーツマス条約



↑ 1945 年ソ連軍の侵攻経路

してしまいました。

だい じ せ かい たい せん ご しょう
第2次世界大戦後の1951（昭和
わ 26）年「サンフランシスコ平
わ しょう やく むす に ほん ち しまれつ
和条約」が結ばれ、日本は千島列
とう みなみ から ふと に ほん
島・南樺太をゆずりました。日本
ち しまれつ とう
がゆずった千島列島とは、ウルッ
とう し ま しま ば ぼ ま い ぐ ん
プ島より北の島のことで、歯舞群
とう し こ た ん とう く な し り とう え と ろ ふ とう よ ん
島、色丹島、国後島、択捉島の四
とう
島はその中に入りません。この条



↑ 1951年サンフランシスコ平和条約

やく に ほん みなみ から ふと ち しまれつ とう は ぼ ま い ぐ ん とう し こ た ん とう
約により、日本は南樺太や千島列島をゆずりましたが、歯舞群島、色丹島、
く な し り とう え と ろ ふ とう よ ん とう に ほん い が い りょう とう
国後島、択捉島の四島は、日本以外のどこの国の領土となったことがないとい
れ き し よ ん とう ほ っ ぽ う り ょ う とう
う歴史があります。このことから四島を「北方領土」とよび、わが国固有
りょう とう に つ ぽ ん せい ふ
の領土である、というのが日本政府の考え方なのです。

じょう や く れ ん さん か に ほん れ ん へ い わ じょう や く
この条約にソ連が参加しなかったために、日本はソ連との間に平和条約を
むす は じ しょう わ
結ぼうとして、話し合いを始めました。そして、1956（昭和31）年「日
きょう どう せん げ ん し ょ め い りょう とう も ん だ い か い け つ へ い わ じょう や く むす
ソ共同宣言」が署名され、領土問題の解決や平和条約を結ぶための話し合い
つづ れ ん
が続けられることになりました。その後も、ソ連との間で話し合いが続けら
れ て き ま し た 。

れ ん げ ん ざ い りょう とう も ん だ い か い け つ
ソ連という国がなくなり、ロシアになってから現在まで領土問題の解決に
む つづ
向けて話し合いが続けられています。

ほ っ ぽ う り ょ う とう ど が い こ く りょう とう
北方領土は、今まで一度も外国の領土に
な っ た こ と が な い い ん で す ね 。



そうです。
に ほん じん へ ん か ん し ゅ ち ょ う
だから日本人はとうとうと返還を主張していいんだよ。

③ 返還運動

北方領土の返還要求の声は、戦後まもなく北海道の根室にあがりました。根室であがった返還要求の声は、やがて北海道の各地に広がり、運動の輪は、しだいに全国に広がり、返還に向けた様々な活動が行なわれています。

北方領土の返還運動をもりあげるため、1981（昭和56）年、政府は2月7日を「北方領土の日」とすることを決めました。

この2月7日は、1855（安政元）年、「日露通好条約」が結ばれた日です。毎年「北方領土の日」には、東京で北方領土返還要求全国大会が開催されています。

また、この日を中心に全国各地で大会やパネル展、キャラバン活動などが行われています。さらに返還実現のための署名活動も行われ、今まで集まった署名の数は9,000万人を超えています。



北方領土返還のため
の活動には、どんなものがあるのだろう。

北方領土の返還がまだ実現していないことから、一日も早く北方領土問題を解決して、日本とロシアが、本当の友好関係がつけられるよう全国的な返還要求運動が行なわれているよ。



↑ 根室の人たちを中心に行われた返還運動



↑ 返還要求中央アピール行動

④ 交流とこれから

ほつぽうりょう ど もんだい かいけつ
北方領土問題を解決していくため
には、まずにほん りょう ど こくみん
ひとりが、日本の領土である北方領
土について正しく知ることが大切だ
ね。



ほつぽうりょう ど へんかん
北方領土返還のため
に、わたしたちができる
ことはなんだろう。



しよめいかつどう
↑ 署名活動



ほつぽうりょう ど へんかんようきゅうぜんこくたいかい
↑ 北方領土返還要求全国大会



しよめいかつどう
↑ 署名活動



そして、にほんじん と ロシア人 が おたがいの きも たちば
よく知ること 必要だね。

このことをもくてきにして、1992 (へいせい 4) 年からにほん
ロシアの北方四島交流 (びざなし交流) が行われるよう
になったのね。





1999（平成11）年から、元島民やその家族を対象にした自由訪問が行われていて、お墓参りや居住地跡を訪問したりしています。また、1964（昭和39）年から北方墓参が始まっています。



↑ 北方領土返還シンボル像の「四島のかけ橋」



↑ 北方墓参



北方領土を返還してもらうということは、国と国との間のむずかしい問題だね。国民一人一人がこの問題について、正しく知り、日本の立場をロシア、その他の国々にねばり強く伝えていくことが大切ね。



↑ 北方四島交流事業でお菓子作りや書道を行ったようす

